

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第2区分
【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公表番号】特表2009-536785(P2009-536785A)
【公表日】平成21年10月15日(2009.10.15)
【年通号数】公開・登録公報2009-041
【出願番号】特願2009-508486(P2009-508486)
【国際特許分類】

H 0 1 S 3/06 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 S 3/06 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月19日(2010.5.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

請求項1乃至11の何れか1項に記載の装置において、前記光ファイバは0.15未満の開口数を有する導波路を備え、

・前記コアは、シリカ、約0.1~4モルパーセントの濃度のアルミナ、2~20モルパーセントの濃度の燐酸塩、2000~60000ppmの濃度のイッテルビウムを有し、且つ、

・前記ベDESTALは、シリカ、燐酸塩、及び酸化ゲルマニウムを有し、前記光ファイバは、976nmにおける約400mWのポンプ光によって長さが0.1~1mの光ファイバをコアポンピングする場合、1000nm~1100nmの波長において2000時間で5%以下の減衰における増加によって特徴付けられるフォトダークニング耐性の光ファイバである、装置。